

インターネット VS FM波 比較表

		高度利用者向け	一般向け
受信方式		インターネット	FM波
緊急地震速報	発報基準となる場所	お客様指定住所 ピンポイント	数県単位の広域情報
	発報基準となる震度閾値	震度1～震度7 任意の震度で設定	放送エリア内に震度4以上の地域がある場合にお知らせ
	予測震度	アナウンス可能	×
	予測猶予時間(秒単位)	アナウンス可能	×
月額利用料		必要 (ラビットは不要)	不要
通信状態保守		回線切断時にはメールと電話で連絡	×
本体修理保守		本体修理及び代替機 無償	有償
放送設備など外部機器の制御		可能	可能

放送設備などの外部機器を制御

FM波及びインターネットどちらの受信端末でも、放送設備、エレベーター、自動ドア、回転灯などの外部機器を制御することができますが、予測震度に応じて個別に外部機械を制御することができるのは、インターネットの受信端末となります。

発報基準となる場所

FM波では県内・複数県内の全ての場所をひとつの場所とみなし、県内・複数県の全ての場所に対して同じ地震情報を配信します。インターネットでは、お客様の指定住所に対しての地震情報を配信（**お客様住所の緯度・経度及び地盤増幅率を登録**）

発報基準となる震度閾値

FM波では、最大予測震度が5弱（または5強）以上の地震で、放送エリア内に震度4以上の地域がある場合に放送されます。予測震度は放送されず、地震が来ることだけをお知らせします。

インターネットでは、受信端末で任意に震度を設定し、その震度以上の地震が予測される時だけお知らせします。

予測震度

FM波では、予測震度はお知らせしません。地震が来ることだけをお知らせします。

インターネットでは、**受信端末の設置場所に対しての具体的な予測震度をお知らせ**します。（震度1～震度7で設定が可能）

猶予時間

FM波では、地震が到達するまでの猶予時間はお知らせしません。地震が来ることだけをお知らせします。

インターネットでは、地震が到達するまでの**具体的な猶予時間を、秒単位でお知らせ**します。

保守料

FM波の受信端末では、保守料は不要。

インターネットの受信端末では、保守料が必要となります。スーパーラビットは保守料不要。

通信状態保守

FM波では、受信端末とラジオ放送局の通信状態を監視することはできません。

インターネットでは、受信端末と緊急地震速報配信サーバーの接続状態を監視することができるので、通信障害が発生した場合、**メールとお電話でお知らせ**します。

本体修理保守

FM波の受信端末では、機器が故障した場合の本体修理及び代替機の貸出などは有償となります。

インターネットの受信端末では、**本体修理及び代替機の貸出などが無償**となっています。（修理は送付バック方式）

総発売元

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 J コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F